

皆さん、おはようございます。

4月6日にやっと今年度の学校生活が始まったのも、束の間、4月18日から再び臨時休業となってしまい、それから3週間以上が経過しました。随分時間が経ってしまいました。

今朝は、久しぶりに友だちを会えて、嬉しい気持ちで登校した人もいることでしょう。朝起きるのが辛かったという人もいるでしょう。

皆さんは、この間、どんな生活を送ってきましたか。それぞれに思い返してみてください。

- ・ 家族一緒に有意義な時間を過ごせたという人もいるかもしれません。
- ・ ずっと家にばかりいて、いらいらして兄弟げんかをしたという人もいるかもしれません。

学習面では、自分のペースでしっかりと取り組めましたか。また、運動にも取り組めましたか。

中には、思い出せることは、スマホをいじっていたことと、ゲームをしていたことばかりで、それ以外には何をしてきたのか、ほとんど思い返せないという人もいるかもしれません。

さて、今朝、分散登校という形で、登校日を設けたのは、臨時休業期間が、5月20日まで再延長になってしまいましたので、ここで一旦、学校に登校してもらい、これまでの家での学習や生活を振り返ってもらい、今後の休業期間に向けて心構えを作ってほしいと考えて、登校日を設けました。

これから、各学級ごとに課題を集めたり、新たな課題を渡したりしますが、その前に、私から大きく2つ話をしますので、よく聞いて、自分の頭で考え、自分の心で感じて、これからの皆さんの生活に結び付けてほしいと思います。

【1 目標をもって、臨時休業期間を充実させよう！】

まず、一つ目は、今後の臨時休業期間を、自分で「これをしよう」と何かを決めて、自分の意志で勉強、運動、生活を充実させてほしいということです。ここで、注意してほしいのは、誰かに言われたから、仕方なしにやるのではなく、「勉強面では、これをしよう」「運動は、これをしよう」と

自分で決めて、自分で行動することが、非常に大事です。

誰かに言われて仕方なしにやっても、絶対に自分のためにはなりません。

自分で決めて、自分で行動を起こすことが大事です！

中学校の学習は、最終的に皆さんの進路選択に直結することになります。

コロナなんかを負けているわけではありません！

学校の宿題さえやればいいという話でもありません！

自分で決め、怠けたい自分に打ち勝って、最後までやり抜いてほしいと思います。

怠けたい自分に打ち勝つ心を「克己心」と言います。

「己」に「克つ」心です。克己心をもって、頑張ってもらいたいと思います。

また、自分自身の健康を維持するために、運動をすることも大切です。

家の中で筋トレをしたり、庭で縄跳びをしたり、公園でランニングをするなど、自分のペースでできることに取り組んでみてください。

アメリカの大リーグで数々の記録的な成績を残した野球選手「イチロー」を皆さんも知っていることと思います。

インタビューを受けて、こんな言葉を残しています。

- ・「小さなことを積み重ねるのが、とんでもないところへ行く、ただひとつの道だと思っています。」
- ・「そりゃあ、僕だって勉強や野球の練習は嫌いですよ。誰だって、そうじゃないですか。つらいし、大抵はつまらないことの繰り返し。でも、僕は子供のころから、目標をもって努力するのが好きなんです。だって、その努力が結果として出るのは嬉しいじゃないですか。」

大事なことを教えてくれる言葉だと思います。

また、平二中の校庭には、

40年以上前に建てられた「シンボル」の碑があります。

4月7日の対面式の日にも話しましたが、

その碑には、「開拓する心」ということばとともに、

「きびしく、たくましく、未知のとびらをたたき、未来をひらく」ということばが刻まれています。

この言葉は、自分自身の将来を見据えて、

志や目標を実現させようと、努力を重ね、挑戦する・・・というようなことを意味しているのだと思います。

この言葉を心に刻み、コロナなんかには負けないで、頑張ってもらいたいと思います。

【2 ウイルスの3つの顔を知り、負のスパイラルを断ち切ろう！】

次に、大きな2つ目の話は、

「ウイルスの3つの顔を知り、負のスパイラルを断ち切ろう！」ということなのです。

日本赤十字社のCMで、皆さんも知っていることと思います。

新型コロナウイルスには、3つの感染症という顔があります。
そして、知らず知らずのうちに、私たちも影響を受けているというのです。

第1の感染症は、「病気そのもの」です。
このウイルスは、感染者との接触でうつることがわかっています。
そして、感染すると、風邪症状や重症化して肺炎を引き起こすことがあります。

第2の感染症は、「不安と恐れ」です。
ウイルスは目に見えませんが、ワクチンや薬もまだ開発されていません。
わからないことが多いため、私たちは強い不安や恐れを感じ、
振り回されてしまうことがあります。不安や恐れが心の中で膨らみ、
人間らしい優しさや思いやりを弱め、人から人へと伝染するのです。

第3の感染症は、「偏見・差別」です。
ウイルスに関する情報に振り回されてしまって、
「あの人が咳しているから、コロナにちがいない」と考えたり、
「県外ナンバーの車は、コロナを広げに来ている」と決めつけてみたり、
「熱があるけど、差別されるから黙っていよう」と考えたりすることです。

三つの感染症は、つながっていて、
つながりながらどんどん大きくなっていきます。
病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別がさらなる病気の拡散につながります。

三つの感染症を平二中に広げないように、
生徒のみんな一人一人には、正しい判断・行動をしてほしいと思います。

まずは、病気そのものに感染しないよう、手洗いをする、マスクをつける、
人混みを避けるなど、基本的なことをきちんと行いましょう。

また、インターネットなどで、不安をあおるような情報にばかり、
目を向けるのを止め、勉強や運動、読書など、今やるべきことを
きちんと行っていくことが非常に大切です。

不安をあおるような情報にばかり触れ続けていると、
皆さんの心の中は、偏見や差別の第3の感染症に侵されてしまいます。

また、皆さんの周りに、差別的な言動をする人がいたら、
決して同調してはいけません。

人としての優しさ、思いやりを忘れずに、お互いに励まし合って、
学校生活を豊かなものにしてほしいと願っています。

平二中の生徒会では、伝統の「あじさい運動」に取り組んでいます。
「あじさい」の「い」は、

「いじめをしないで、誰とでも仲良くできる生徒」を意味しています。

コロナに負けることなく、生徒のみんなが、優しさ・思いやりをもって、素晴らしい学校生活を築いてくれることを期待しています。

今朝は、私から、大きく2つ話をしました。以上です。